

# 2013年12月24日(火) クリスマス・イヴ礼拝

- 音 楽 カルバリー聖歌隊&アンサンブル
- 賛 美 讃美歌112番「もろびとこぞりて」  
「主我を愛す」(八重の桜のヒット曲)  
(栄光の雲が宮に満ちて)
- 主の祈り
- 聖 書 ルカによる福音書2章8～15節
- 音 楽 「メサイヤ」(4番 12番 44番)  
カルバリー聖歌隊&アンサンブル  
指揮:香月健
- メッセージ 「このかたこそキリスト(救い主の意)です」  
大川従道牧師
- 献 金 讃美歌109番「きよしこの夜」  
頌 栄 ハレルヤ  
祝 禱
- ・サイン・ダンス 「Little Drummer Boy」  
・キャンドル・サービス 「Happy Birthday Jesus！」  
\*キャンドルは、座席に残して置いて下さい。

「きよしこの夜」の町に、あなたがたのために救主がお生れになった。  
「このかたこそ主なるキリストである。」

ルカ二章十二節

## メリークリスマス !! 祝! 聖降誕日!

心から感謝と賛美をささげ、主の祝福を祈ります。

2013年12月24日

主任牧師 大川従道

- ・ 明朝10時半から「クリスマス当日礼拝」。説教は倉知副牧師。チェロ独奏は後藤兄。
- ・ 「年末感謝祈禱会」は、27日(金)19時。説教は坪井副牧師。証人は三畑長老他。
- \* 『初詣礼拝』は、元旦9時と11時の2回。説教は大川牧師。演歌賛美は佐佐木ジョシユア師、日本舞踊(11時のみ)は奥野真弓姉。\*初心者大歓迎です。福袋あり。

## 石の枕

ユダヤ人の歴史を見れば、まずユダヤ人はエジプトに連れ去られ、奴隷にされた。しかし今日、エジプトに残っているのは、ピラミッドしかない。ペルシア帝国も、残したものはペルシア猫だけである。紀元73年にはローマ帝国がイスラエルを滅ぼし、イスラエルが20世紀にはいって再建国されるまで、ユダヤ人を世界に離散させた。ローマ帝国は、ローマ市内にコロセウムと日本の温泉地にローマ風呂を残しただけである。これに反し、ユダヤ人は滅びず、世界の各分野で活躍している。

いってみれば、ユダヤ人の剣は、知性であった。そしてユダヤ人がふたり以上集まれば、必ずジョークを交換するように、ユダヤ人にとってジョークは、この知性という剣を研ぐための砥石にあたった。

これはトケイヤー著「ユダヤ人ジョーク集」からの引用であって、塩野七生さんに叱られるような内容かもしれない。しかし、アインシュタインが「私にとって最大の学校は、ジョークであった」は面白い。

日本の国はジョークで満ちている。高齢化社会になって、「笑う」より、「笑われること」に価値を見出し出している人は多い。初詣礼拝(1月1日朝9時と11時)の説教の題は、「笑う門(カド)には、福来たる」ではなく、「笑われる門には福来たる」で語ろうかと思いを深めている?!、その点、曾野綾子さんのご主人の新刊書『老人の品格』は面白かった。(三浦朱門著・新潮文庫)

さて、今日は「Xマスイブ」。教会もデートコースになっているらしい。

古典的小噺。お父さんとデパートへ行った少年の話。「お父さん！どうしてクリスマスのこと“X”マスと書くの?」。お父さんは知らないと答えると沽券(こけん)に関わるので、考え抜いた結果、「うん、あれは、わけのわからんお祭りだから“X”を使うのだ!」と答えたとか。言い得て妙!

キリストのギリシャ語の頭文字が“X”なので、そのように書く、というのが正解です。マスはミサ(礼拝)のこと。心から救い主イエス・キリストを賛美し、礼拝しましょう。本日は、ようこそおいで下さいました。神様の祝福を心からお祈り申し上げます。毎週の日曜礼拝は、この「X」の解き明かしの連続です。牧師はこの道50年の筋金入り(心筋梗塞の手術でステント3本入っていることを指す)。説教には、本人が一番感動している!?